

2-2-5 JAみやぎ登米水稻部会 大久保芳彦

宮城県登米市南方町生物多様性戦略

【めだかのおたより】米プロジェクト

はじめに

地球上の生物は生命が誕生して以来、様々な環境に適応し進化しその数3,000万種ともいわれ、多様な生きものが生れました。これらの生命はそれぞれに様々な関係でつながり、長い年月をかけて現在の地球の姿を作り上げてきました。

そして私たち人間も地球という大きな生態系の一員であり、地球によって生かされています。私たちが住む日本は、四季の移ろいとともに変化する自然の豊かさと自然災害をもたらす荒々しさを持ち合わせた自然の中で、自然を育み、様々な知識、技術、そして感性を培ってきました。先人たちのこの営みの足あとを大切に守り、更に高めていく事が重要と考え「命を支えあう」を中心にすえた、生物多様性を力強く進める「農」を目指します。

自然の生きものへのまなざしを私たち農業を営む者が率先して取り戻し、自然の生きものも「農の恵み」として、多くの人々に伝える行動をここにスタートさせます。

〈プロジェクトの取り組み〉

私たちは、めだかをシンボルとした命を育む多様な生きものとの共生を目指す、

「めだかのおたより」米プロジェクトです。

＊ ＊ 実施事項 ＊ ＊

- 冬みずたんぼの実施
- ビオトープの設置
- 水田魚道の設置
- 環境保全型農法の実施
- めだかの学校プロジェクト（養殖と放流）
- 生きもの調査の取り組み
- CO₂を減らす取り組み
- カーボンフットプリントの取り組み

・メダカは、英名でrice-fish（ライスフィッシュ・米の魚）と呼ばれる。稲作の進展とともに分類を広げてきた魚で、自然と人間との関わりを映すバロメーターとも言われる。

・野生のメダカは、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている。

（「めだかのおたより」米認証制度）

農業や化学肥料で効率的に米を作ってきた今までの農法から、南方町水稻部会は安心・安全そして生物との共生を目指した農業を実践しています。

ここに「命を支えあう」、「めだかのおたより」米認定基準を設定します。

（ 認定基準 ）

- ① 宮城県登米市南方町水稻部会員が栽培した米であること。
- ② エコファーマー（注1）の認定を受けていること。
- ③ 南方町水稻部会栽培基準により特別栽培（注2）で生産された米であること。
- ④ 命を育む農法（注3）に取り組んでいること。

（注1）エコファーマーとは土壌診断に基づいた土作り技術、化学農薬・化学肥料低減技術計画を宮城県から認定された安全・安心な農業を実践する農業者です。

（注2）特別栽培米とは

- ・栽培期間中に無農薬・無化学肥料で栽培されたもの。
- ・栽培期間中に化学農薬、化学肥料を地域慣行比5割以下に減らし栽培されたもの。

（注3）命を育む農法とは

- 冬みずたんぼの実施
- ビオトープの設置
- 水田魚道の設置
- 環境保全型農法の実施
- めだかの学校プロジェクトの実施
- 生きもの調査の取り組み
- CO₂を減らす取り組み
- カーボンフットプリントの取り組み

《 認定方法》

- ◇南方町に暮らす生きものたちと共に育んだ田んぼから、収穫した安全と安心にこだわったお米を認定基準に基づき「めだかのおたより米認証委員会」が認証します。
- ◇認証を受けるには、めだかのおたより米の生産計画書を提出しなければなりません。

「めだかのおたより」米の認証申請

①申請資格

- ・南方町水稻部会員
- ・エコファーマー認定者

②栽培方法

- ・JAS有機栽培米
- ・無農薬無化学肥料栽培米
- ・省農薬栽培米（無農薬無化学肥料栽培米、または本田除草剤1回のみ使用）
- ・環境保全栽培米
- ・その他、南方町水稻部会で決定した栽培

③命を育む農法の取り組み

④申請書類

- ・「めだかのおたより」米の生産計画書、圃場一覧、圃場位置図

⑤認証の決定と有効期間

- ・「南方町めだかのおたより米認定委員会」（ 名）で審査・決定
- ・認証期間は3年とし、変更を行う場合は変更届けを提出する

⑥認証費用

- ・当分の間無料

⑦申請先と同合せ先

- ・南方町水稻部会事務局

⑧その他

- ・罰則として、不正な事実があった場合は認証を取り消します。

= 生命を育む田んぼ物語り =

宮城県登米市 南方町生物多様性戦略 めだかのおたより 米 プロジェクト



南方町水稻部会で作っているお米

受賞歴：第35回日本農業賞（集団組織の部） 大賞：J Aみやき登米稲作部会連絡協議会
第7回全国環境保全型農業コンクール 優秀賞：南方町水稻部会

栽培品種	栽培基準
ひとめぼれ	・JAS有機栽培米 化学合成肥料及び化学合成土壌改良資材を使用しない栽培方法で、化学合成材の使用を中止してから3ヶ年以上を経過し、堆肥によって土づくりを行った圃場において収穫されたお米です。
ササニシキ	・転換期間中有機栽培米 化学合成材を使用しないのは「JAS有機栽培米」と同じですが、化学合成材の使用を中止してから2ヶ年以上経過した圃場で生産されたお米です。
つや姫	・無農薬無化学肥料栽培米 「JAS有機栽培米」と同じですが、化学合成材の使用を中止してから6ヶ月以上経過した圃場で生産されたお米です。
ミルクークイーン	・省農薬栽培米 「無農薬無化学肥料栽培米」と同じ栽培ですが、本田において1回の除草剤使用で生産されたお米です。
コシヒカリ	・農業・化学肥料節減栽培米（環境保全米Bタイプ・Cタイプ） 生産過程における、化学合成農薬の使用回数が、当該地域で慣行的に行われている使用回数の1/2以下、及び化学肥料（窒素成分）の使用量が当該地域で慣行的に行われている使用量の5割以下の栽培方法により生産されたお米です。
みやこがねもち	

栽培面積 JAS: 85.84ha 転換: 2.05ha 無農薬: 32.54ha 省農薬: 263.64ha Bタイプ: 13.24ha Cタイプ: 18.92ha 合計: 416.23ha
生産数量 JAS: 6,412俵 転換: 108.5俵 無農薬: 2,180俵 省農薬: 21,278.5俵 Bタイプ: 1,097俵 Cタイプ: 1,212俵 合計: 32,288俵 (24年産実績)



生きかわり死にかわり打つ田かな

私たちの米づくりは「めだか」をシンボルとした命を育む多様な生き物との共生を目指しています。

農業が経済や科学という物語りだけで支えられるのではなく、今あたり前にあるお米づくりを来年、再来年、10年後、100年後と続けていく物語りです。

そして、その米を皆さんに食べ続けていただくことで生命・環境が豊かになる、「生命を育む田んぼ物語り」です。



南方町水稻部会

【お問い合わせ・事務所】
〒987-0401
宮城県登米市南方町西山成前71-6
TEL:0220-58-2315
FAX:0220-58-2313



部会ホームページ